

最先端の素材と匠の技術が光る下町ロッド工場 「釣竿製造技術」

私達は60年にわたり
釣竿作りをしています

(注1)相手先ブランド製品の製造

現在は20社を超える釣り具メーカーさんから
高度なカスタムまで一貫して
自社製造で請け負っています！

メード OEM (注1)
を設計から納品まで一貫して
自社製造で請け負っています！

株式会社リチャーズ

作風来

鈴木隆社長

同じ大きさの鉄と比べても
カーボンファイバーの重さは鉄の4分の1！
強度は約10倍！ (注2)



カーボンファイバーくん
って…凄いなあ～

35年前から釣竿の素材は「カーボンファイバー（炭素繊維）」が主流となっている

各メーカーさんの細かなご希望に
確実に応えるには
釣竿製造の高い技術
と、素材加工の
深い知識と経験が
必要とされます

釣りの市場ニーズは
どんどん細分化し
ハイレベル化して
います



(シチュエーション)
(釣竿の曲がり具合や
調子の好み)

(その他
釣りには
色々な条件が！)

カーボンファイバー製釣竿
「カーボンロッド」は軽量で
高い強度と弾性を持ち
耐熱耐寒・安定性にも優れる



オープンで 焼成

高温温風循環炉（オープン）の中に吊り下げて
加熱します。オープンはこんなに高い！
3メートル近い竿も中に納まります

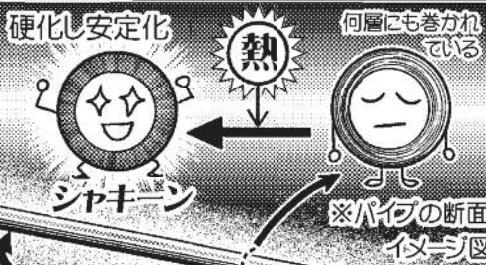
成型用テープでさらに圧をかけながら巻きあげた後

芯金（マンドレル）へ巻き付け

芯金（マンドレル）です
太さ・形・長さなど
多くの種類を揃えていて
製造する釣竿により
使い分けています

芯金に先ほど裁断した
カーボンシートを
複数枚巻き付けます

素材のカーボン
シートに含まれた
樹脂が加熱され
熱で硬化して
安定した質の
硬いパイプ
(ブランクス)になります



釣竿のベースとなる
硬化したパイプをブランクスといいます

接合部の研磨

嵌合部分を1ミリ単位で調整しながら
研磨し仕上げます

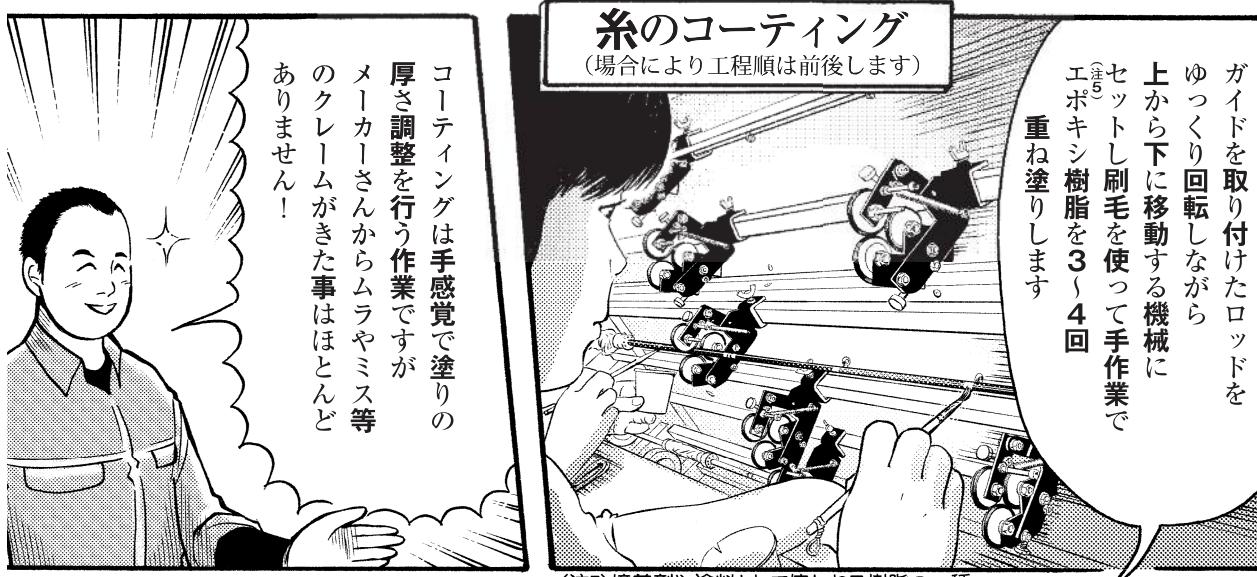
釣竿は継いで
使うので…

脱芯とカット

冷却後、芯金を抜いたら
機械を使い決められた長さに
ブランクスをカットします

ブランクス両端を同時に切断できる
専用切断機

塗装



(注5)接着剤や塗料として使われる樹脂の一種



得意のカーボン加工技術を
活かしたブランド名を
「スズキブランクス」という
オリジナルブランドとして
海外にむけて販売

SUZUKI Banks

Carefully Made in Tokyo, Japan

世界基準をベースにしたアクションで40アイテム

弊社ホームページも
英語に対応しております
各國から直接の
お問い合わせが多く
なっています

お問い合わせ
鈴木社長は大学
時代をアメリカで
過ごし海外の人も
多く、語学も堪能

海外では釣竿の仕上げ
を自分で行う文化があり
スズキブランクスは
高品質のベース竿として
年々海外ユーザーを
増やしています

最先端素材の良さを
最大限に引き出し
匠の技術を駆使した
納得の釣竿を！

(株)リチャーズは
これからも日々
皆様に提供して
まいります

